

カワシンジュガイは、天塩川本支川において生息が確認されており、本川では大きな群生を形成し再生産していることを確認しています。今後とも専門家の意見を聴きながらその生息状況に関して調査を進めるなど、サクラマス等と密接な関係があるカワシンジュガイについて、専門家の意見を聴きながらサクラマスとあわせてその生息環境の保全に努めます。サンルダムの建設にあたっては、サクラマスの遡上、降下対策を行うことにより、ダム上流のサクラマスの生息環境を保全することとしており、ダム湛水予定地内に生息するカワシンジュガイについては、移植等の適切な対策を実施します。

圖-1

图-2

图-3